

令和7年度第1回 早良市民センター運営審議会議事録

日 時 令和7年10月30日(木) 15時30分～16時30分
場 所 福岡市立早良市民センター 3階 第1・第2会議室
委 員 【出席】5名 【欠席】2名
事務局 早良市民センター館長 外3名
指定管理者 4名

傍 聴 人 なし

○ 次 第

- 1 開 会
- 2 館長あいさつ
- 3 委員・職員紹介
- 4 議 事
 - (1) 協議・報告事項
 - ① 令和6年度 市民センター利用状況について
 - ② 令和6年度及び令和7年度指定管理者事業について
 - (2) その他
- 5 閉 会

○ 議事録

(議 事)

協議・報告事項

- ① 令和6年度 市民センター利用状況について
- ② 令和6年度及び令和7年度指定管理者事業について

指定管理者から説明・報告を行った。

① 意見・質問

(委員) コロナを機に利用団体が減ったのではないか。

(事務局) 利用者数はコロナ前とほぼ近い数字に戻ってきていると言える。

(指定管理者) 利用件数は減っているが、利用者数は増えている傾向である。

② 意見・質問

(委員) 生涯学習事業について、令和5年度までは平日開催だったようだが、6年度から土曜日開催となっている。変更した理由は何か。

(指定管理者) 当時の運営審議会で、平日の事業が多いため土日にも実施してはどうかという話があり、家族で楽しめそうな催しを土日に企画し、結果満員となった。令和7年度生涯学習事業や人権講座も一部土曜日の開催としている。

(委員) 令和7年1月の生涯学習事業は満員で入ることができなかった。

- (委員) 令和7年5月の映画のアンケート結果はどうだったか。メッセージ性のある映画だった。
- (指定管理者) 「とても考えさせられた」という感想が多かった。
- (委員) 社会問題の映画で、当事者たちはこうやって生きている、という現実のこととして見る機会はとても意味があることだと思う。見る人によっていろんな感想があると思うが、早良市民センターが何を狙って事業を行うかということかと思う。また、予約のあり方も問われる。予約フォームなどの導入を検討できないか。
- (事務局) 個人情報の問題があるが、利用者の利便性を高める方向で引き続き検討する。
- (委員) 安全なものが使えるといい。
- (委員) 小中学生は平日市民センターに来られないので、土日の催しはできないか。
- (指定管理者) 家族向けのものは土日に設定している。公民館やPTA関係者は平日の参加が多く、そのほかの方は土日が多い。映画は夕方と夜の2回上映とした結果、新規の来場者が増えた。今後も、曜日や時間帯を考えて設定していきたい。
- (委員) 中高生はなかなか利用しないのではないかと思う。新規事業もPRしてほしい。
- (委員) 中高生はどんなものだったら市民センターに足を運ぶか。
- (委員) ダンス、特にヒップホップダンスが人気で、子どもたちの興味関心が高い。
- (委員) 事業の広報は市政だよりやチラシ、ポスター以外に何かあるか。公民館や小中学校への周知はどのようにしているか。
- (指定管理者) コミュニティ情報誌にも掲載を行っている。
- (委員) 人権講座は必ず公民館だよりに掲載している。
- (委員) 学校内でも公民館だよりを掲示している。
- (委員) 学生のうちにいろいろ経験しておくのと市民センターの存在を認識し、大人になってからも来てもらえると思う。
- (事務局) 自習室の利用者がかなり増えており、中高生が多い。
- (委員) 早良市民センターは場所が便利である。
- (指定管理者) 現状、空き室を開放している。今後専用の自習室を整備する計画もある。
- (委員) 自習室に来た子どもがイベントのチラシなどを見て興味を持つかもしれない。
- (委員) 自習室の利用状況はこの資料の統計に入っているのか。
- (事務局) 含まれている。視聴覚室、第1・第2会議室のいずれか1室の空きがあれば開放している。
- (委員) 事業のアンケート結果で今までにない傾向や他区の状況など、ポイントがあれば教えてほしい。
- (指定管理者) 第2回人権講座の「手話でつながるメッセージ」のアンケートでは、年代は60～70代が多いが、初めての来館者が増えている。アンケート回収率は8割程度だった。
- (委員) 回収率8割は理想的な数字である。新規事業の「さわらフェスタ」は屋外で実施するのか。
- (指定管理者) 寒い時期で、天候にも左右されないよう屋内で実施予定である。